

企画展

探検!

たんけん

むかしのくらし

たいむさん
たいむじんおつせい



これは
何だろう?

なつさん
こわがりで知れたがり



こたえは
歴史博物館で
わかるぞ。

なんでも知ってるトリップ博士
はかせ



2024年

11月29日(金)~3月9日(日)

2025年

開館時間

11月まで 午前9時~午後5時

12月~3月 午前10時~午後4時

※観覧券の販売は閉館時間の30分前まで

観覧料

一般: 510円 (410円)

小中高生: 260円 (210円)

※()内は20名以上の団体料金

※本料金で常設展示もご覧いただけます

※幼児および市内の学校に通う小中学生は無料

休館日

月曜日(祝日の場合はその翌日)

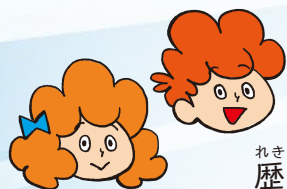
祝日の翌日

年末年始(12月29日(日)~1月3日(金))

上越市立歴史博物館
JOETSU CITY HISTORY MUSEUM

〒943-0835 新潟県上越市本城町7-7(高田城址公園内)
TEL.025-524-3120 FAX.025-522-7205
URL <https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/museum/>





子どもたちへ

れきし はくぶつかん

歴史博物館には、みなさんのおじいさん、おばあさんが生まれる前に使っていた昔の道具がたくさんあります。みなさんの知っている道具とくらべると、くらしの様子ようすのうつり変わりがわかります。道具の形やはたらきなど、どんどん変わっていく様子を探検たんけんしましょう。



氷れいぞうこ



かべかけ式電話



白黒テレビ



すみび 炭火アイロン



レコードプレーヤー



ゆき げ た 雪下駄



足踏みミシン



つぐら



おん ちく音き



せんたく板たらい



はがま

大人の方、保護者の方へ

私たちの身のまわりの道具は、より使いやすく、暮らしを便利にするために改良が加えられてきました。

本展覧会では、釜、洗濯板、ローラー式洗濯機、氷冷蔵庫、足踏みミシン、炭火アイロンなど家事に関わる道具や、蓄音機、白黒テレビ、ダイヤル式電話など生活を豊かにした道具などを展示し、大正から昭和時代の暮らしの移り変わりを振り返ります。子どもたちに、どのように道具が改良され、暮らしが変わっていったのかをお話しいただけたらと願います。



交通案内

【公共交通機関でお越しの方】

- ・北陸新幹線上越妙高駅下車「上越妙高駅前」から「中央病院行」バスで「西城町1丁目」降車、徒歩5分。
- ・えちごトキめき鉄道高田駅下車「高田駅前案内所」から「中央病院行」バスで「西城町1丁目」降車、徒歩5分。
- ・えちごトキめき鉄道直江津駅下車「直江津駅前」から「中央病院行」バスで「高田城址公園」降車、徒歩5分。

【自家用車でお越しの方】

- ・北陸自動車道から上越IC～国道18号 鴨島立体交差点右折、高田城址公園内まで約15分。
- ・上信越自動車道から上越高田IC～高田城址公園内まで約10分。

上越市立歴史博物館
JOETSU CITY HISTORY MUSEUM



〒943-0835 新潟県上越市本城町7-7(高田城址公園内) TEL.025-524-3120 FAX.025-522-7205
URL <https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/museum/>

